

竹原市収受
竹第号
01.12.26
月 B
歳次年頭

資料様式第3号

議長	副議長	局長	局長補佐	係長	局員
					

令和元年 12月 26日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 吉田基



視察・調査場	滋賀県大津市唐崎町二丁目13番1号
期日	令和元年 11月 18日 ~ 令和元年 11月 19日
経費	31,700円
参加者氏名	吉田基
視察・調査目的	全国市町村国際交流文化研修所主催 第2回市町村議会議員特別セミナー
内容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	<ol style="list-style-type: none"> 「地方行財政の現状と課題」 講師：星野 菜穂子氏 「自治、分権の志はどこにいったのか-基礎自治体の行方を考えながら」 講師：青山 彰久氏 「最先端技術で変わる地域と自治体の未来」 講師：井熊 均氏 「2040年に向けた自治体の課題と展望」 講師：増田 寛也氏
効果・成果等	<p>各自治体にはいろいろと長短がある中で、将来の町づくりについて懸命に取り組んでいる事例を紹介され、我が町、竹原市を見ていると誠に残念と言わざるを得ないことばかり。とりわけ、増田講師の話の中に努力をしない自治体に未来はない、との指摘に刺激を受けました。人口減少社会と如何に戦うか、スピード感を持って取り組むのが急務であると強く感じました。</p> <p>これからの竹原市をどの様にしていくべきか、課題を正確にとらえ、それらに具体的かつ戦略的に立ち向かう事を強く感じました。</p>

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。



令和元(2019)年度

第2回 市町村議会議員特別セミナー

日々めまぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議員の方には、様々な行政課題について学び、施策を提案していくことが求められています。

今回のセミナーでは、「地方行財政」というテーマのもと、各分野でご活躍の先生方から講演をいただき、今後のわがまちの未来と地方議員に求められる役割について多角的に考えていただきます。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

令和元年

11月18日(月)

地方行財政の現状と課題

総務省地方財政審議会委員 星野 菜穂子 氏

自治・分権の志はどこへいったのか — 基礎自治体の行方を考えながら

元読売新聞東京本社編集委員 青山 彰久 氏

令和元年

11月19日(火)

最先端技術で変わる地域と自治体の未来

株式会社日本総合研究所専務執行役員 創発戦略センター所長 井熊 均 氏

2040年に向けた自治体の課題と展望

東京大学公共政策大学院客員教授

株式会社野村総合研究所顧問

増田 寛也 氏

開催要領

日程

令和元(2019)年11月18日(月)～11月19日(火) (2日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

市区町村議会議員の皆さま

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。

募集人数

200人 募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページ「受講者募集中の研修」でお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

6,650円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和元年10月3日(木)まで

申込方法

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申込ください。※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。






● 問い合わせ先 ●

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL. 077-578-5932 FAX. 077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

竹原市取寄
竹原第 号
01.12.26
月 日
年 月 日
〒 番 号
〒 番 号

議長	副議長	局長	局長補佐	係長	局員
					

資料様式第3号

令和 元年 12月 26日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 吉田基



視察・調査場 所	東京都千代田区霞が関2-1-2 総務省
期 日	令和 元年 11月19日 ~ 令和 元年 11月 20日
経 費	円
参加者氏名	吉田基
視察・調査目 的	総務副大臣 寺田稔 との面談及び陳情
内 容 (視察先の 現状、竹原 市との比較 等)	現状のR185号の歩道整備の進捗を説明する
効果・成果 等	国交省及び広島広島国道事務所に対して事業促進を要望していただく

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市収受
票号
01.12.26
月 日
年 月 日

議長	副議長	局長	局長補佐	係長	局員
					

資料様式第3号

令和 元年 12月 26日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 吉田基



視察・調査場	横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 TKP 横浜会議室
期 日	令和 元年 11月20日 ~ 令和 元年 11月 21日
経 費	52800 円
参加者氏名	吉田基
視察・調査目的	地方議員研究会主催セミナー 地域公共交通の基礎知識と街づくりへの活用
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通の現状と地域公共交通活性化再生法 1. 地域公共交通に求められる役割と効果 2. 地域公共交通を維持するのはだれか 3. 再生法の概要 4. 地域全体を見渡した多面的な公共交通ネットワーク 5. 取り組み事例(豊岡市) 6. 地域公共交通会議と法定協議会 7. 地域公共交通での役割 8. 地域に合わせた交通の選択肢等のセミナー
効果・成果等	<p>竹原市の課題の一つが過疎地域の高齢化に伴い車を運転できない高齢者の日々の外出手段として公共交通の重要性は高く、利便性のあるネットワーク構築の参考になる講義でした。</p> <p>又、地域公共交通会議や法定協議会を活用した住民参加、デマンドタクシーなどの地域に合わせた選択肢、街づくりに与える効果等の事例、竹原市に合った内容に工夫することが必要であり、今後先進地実体験も必要との指摘があったため、豊岡市を訪問し、実際に見分けをしなければなりません。より充実した公共交通ネットワーク作りをする為にも、今後の努力を要する案件である。</p>

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

地域公共交通 特別講座

in大阪

in横浜

10:00～12:30
地域公共交通の基礎知識と
街づくりへの活用

- ・地域公共交通の現状と地域公共交通活性化再生法
- ・地域公共交通会議や法定協議会を活用した住民参加
- ・自家用有償旅客運送やデマンドタクシーなどの地域に合わせた選択肢
- ・Within one mileの街づくりに与える効果の事例

11/7木

in大阪

11/21木

in横浜

14:30～16:30
CASE・MaaSで変わる
これからの地域公共交通

- ・電動車両や自動運転などの次世代車両技術の概要
- ・MaaS(mobility as a service)による地域公共交通の活性化
- ・公共交通オープンデータを活用したICT技術との連携
- ・LRT・BRT、相乗りタクシー、ライドシェアなどの新たな選択肢

10:00～12:30
地域公共交通網形成計画による
地域に合わせた公共交通の構築

- ・地域公共交通網形成計画の概要
- ・だまされない交通統計情報
- ・網形成計画策定時・見直し時のポイント
- ・地域で支えるための仕組みづくり

11/8金

in大阪

11/22金

in横浜

14:30～16:30
立地適正化計画による
コンパクト・プラス・ネットワークの実現

- ・地方都市の現状とコンパクトシティへの誤解
- ・立地適正化計画の概要と確認すべきポイント
- ・立地適正化計画による先進的な街づくりの事例
- ・立地適正化計画と地域公共交通網形成計画の整合性

講師紹介

いはら ゆうと
井原 雄人

株式会社早稲田大学アカデミックソリューション社会連携企画部主幹研究員、早稲田大学環境総合研究センター招聘研究員。
早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科満期退学。博士(学術・早稲田大学)。
研究成果の社会実装を目的に、電動バスや燃料電池車両の開発から社会実証を通し、それらを活用した地域公共交通の政策の
立案業務に従事。